

Asian Task Force Against  
Domestic Violence

身近な人の暴力  
におびえた日々  
を過ごしていま  
せんか…

Japanese

数多くの女性が夫や恋人の暴力に苦しんでいます。しかし、被害を受けている女性たちが、恥ずかしく思い、ひた隠しにしているため、問題が社会の表面に出てこないのです。ドメスティック・バイオレンス（家庭内暴力）とは、身体的暴力を指すだけでなく、言葉や性による暴力、経済力などを通して、相手をコントロールしようとすることです。こうした問題は、夫婦間だけでなく、恋人や、何らかの家族関係にある間柄でも起こっています。

身体的暴力には、平手打ち、殴る、蹴る、火傷を負わせる、突き倒す、物を投げつけるなどが含まれます。

精神的いじめには、容姿や人格について悪く言い、相手を傷つける（太りすぎ、やせすぎ、頭が悪い、母親失格など）、人前でバカにする、脅していいなりにさせるなどが含まれます。

性暴力は、セックス、その他の性的行為を強要することをさします。

言葉による暴力は、非難、中傷、怒鳴る、罵る、大声をあげて黙らせるなどをさします。

経済的虐待は、相手にお金を与えない、家賃や食費など生活に必要な援助をしない、または、逆に相手の収入を取り上げるなどをさします。

このような状態に加えて、女性たちは外出も自由にできず、友人や家族とも疎遠になり、精神的、社会的に孤立させられがちです。ドメスティック・バイオレンスは我慢していればなくなるものではなく、むしろエスカレートしていく例がほとんどです。その悪影響は子供にも及びます。暴力は、問題解決の手段でも愛情の証でもありません。誰にでも、暴力のない生活を送る権利があります。一人で悩まずにご相談下さい。費用はかかりません。電話をかける勇気が、解決への一歩となります。



## 注意すべき相手の言動

次のようなことをされていませんか：

- 些細なことで執拗に責める、怒鳴る、侮辱する（料理の味付けが気にいらない、何ひとつ満足にできないなど）
- あなたの収入を勝手に使う
- 仕事をさせない、あなたの対人関係や生活に過度に干渉する
- 無謀運転をしたり、小突いたり、叩いたりして、あなたをケガ寸前の危険な状態にさらす
- 食料などの生活必需品を、あなたや子供のために買うことを嫌がる
- 不法滞在を通報する、または滞在に必要な書類を移民局に提出しないと断って脅かす

ひとつでも該当すれば  
要注意です・・・

## ドメスティック・バイオ レンスは犯罪です

家族や恋人の暴力に悩んでいたら、アジア  
ン・タスク・フォースにお電話下さい  
(24時間専用ホットライン (617) 338  
-2355)。アジアン・タスク・フォースで  
は、次のようなサービスを提供していま  
す。

- 事情をお聞きし、ご相談に応じます
- 法的権利など必要な情報を提供します
- カウンセリング、シェルター（一時避  
難所）、裁判所、警察、病院などの機  
関を利用するためのお手伝いをします

尚、緊急の場合は迷わず警察（911）に電  
話して下さい。たとえ英語が通じなくても  
警察は現場に駆けつけることができ、暴力  
をやめさせ、必要ならば被害者を病院へ運  
んだり安全な場所の確保もしてくれます。

どうしていいかわからない時

下記のサービス機関にご連絡下さい

緊急の場合

警察：911

ドメスティック・バイオレンスに関するご  
相談 Asian Task Force Against Domestic  
Violence（日本語、中国語、ベトナム語、  
カンボジア語、その他アジア系言語）  
(617)338-2355

ドメスティック・バイオレンスについての  
日本語ウェブサイト [www.tfnetjapan.org](http://www.tfnetjapan.org)